

2011/7/06

阪大 蛋白研セミナーのご案内

大阪大学 蛋白質研究所 藤原敏道

セミナータイトル:

「先端的 NMR 拠点から生まれる新たな潮流:最新成果、役割、利用」

日時:2011 年 7 月 28 日(木)~29 日(金)

会場:大阪大学蛋白質研究所1階講堂

プログラム: <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/jpn/seminar/seminar/>

蛋白研では、最先端の950MHzNMR装置の導入、高磁場DNP法の開発などにより感度・分解能が向上し、より複雑な複合体や低濃度の蛋白質が解析可能になってきた。また、全国には他にも、特徴あるNMRの応用・開発拠点があり、最先端の科学研究だけでなく広く産業界にも寄与している。一方、最先端のNMR研究では、He消費量の大きい超高磁場磁石、極低温プローブなどを用い装置は大型化し、一つの研究室で維持するのは困難になってきている。さらに、最先端の研究では、多くの専門分野での共同研究が必要になってきているため、専門家が集まる拠点での応用、研究開発が重要になっている。本セミナーでは、それら拠点で生み出される最新の成果、特徴を持たせた設備、役割を紹介して、NMR利用のさらなる発展、効率的な運用などについて議論する。

以上